知徳熊野神社子供風流【ちとくくまのじんじゃこどもふりゅう】

開催場所	**八女郡広川町知徳 知徳地区**
開催日	**12 月 16 日**

【芸能の概要】

智徳熊野神社子供風流は、別名「ドイドイカンカン」と呼ばれる。その名前の由来は、鉦や太鼓をならして道行きする音が「ドイドイカンカン」と聞こえることによるという。智徳地区は 8 つの座組から成り、毎年持ち回りで 1 つの座組が座元として熊野神社の祭祀を務めている。毎年 12 月 16 日、その年の座元から来年の座元へ引継ぎを行う「頭渡し」の神事のおり奉納される風流である。地元では「子供風流」と呼ばれ、太鼓を打つ舞い手はすべて子供であるのが特徴である。

【芸能の特徴】

地元では、智徳熊野神社子供風流の起源は古いと伝えられるが、文献は残っていない。1661（寛文元）年、熊野神社が再興された際、五穀豊穣の願成就のお礼に風流を奉納したという記録が残っている。鉦や太鼓の打ち方は筑後打楽の系統に属する。

地元では、智徳熊野神社子供風流の起源は古いと伝えられるが、文献は残っていない。1661（寛文元）年、熊野神社が再興された際、五穀豊穣の願成就のお礼に風流を奉納したという記録が残っている。鉦や太鼓の打ち方は筑後打楽の系統に属する。

【使用する祭具・道具など】

鉦は比較的大きく、道行きの時には 2 人 1 組で鉦を持ち、後方の人が打つ。大太鼓は道行きの時には、1 つの太鼓を大人 2 人が前後に担いで移動する。

・アクセス

広川インターより車で約 5 分

・周辺の観光

十三磨崖仏洞窟、逆瀬ゴットン館、
石仙・弘化谷古墳公園、
こふんピア広川（広川町古墳公園資料館）
薬師堂ぜんざい会（1 月）、かすり祭（9 月）、
広川まつり（10 月）、ひろかわ古墳まつり（11 月）

・近くの特産品

フルーツ（なし、ぶどう、いちご）、お茶